

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 211 号 2015. 11. 25

TOREK 秋季農産展 2015

11月3日(祝)展示 出品者 72名、出品数 406点

ダイコンやサツマイモなどいろいろな秋野菜、稲穂がずらりと並べられ、生産者のコメントを読みながら、愛情こもった作物を鑑賞しました。掲示板には「奇跡のりんごをゲット!」「お米やサツマイモがすごくおいしい」「バケツ稲をやってみよう」などの感想がありました。

また生産者トークコーナーでは貴重なお話がたくさん聞けましたので、一部ご紹介します。



●渡辺義文さん(熊本) 農家さんに慣行農法から無施肥に切り替えてもらうよう頼み、買い取り価格を年々上げていく取り組みをしている。お店では稲刈りや BBQ などのイベントを開催し、お客さんに土やお米ができる過程に触れる体験をしてもらっている。

●渡辺明人さん(熊本) 生産はお茶が主体。自然農法に切り替えてから収量が減り、経済的な壁を感じて有機農法に戻したい気持ちになったこともあったが、ここでやめたら自分の人生はなんだったのかと自分自身に問いかけた。唯物でなく心の問題。信じるのが土や作物に通じる。

●實取義洋さん(熊本) 無施肥のお米作り4年目で5町まで広がった。無施肥にしたのは良い環境を未来の子供たちに残したいから。自然農法の田んぼは心が癒され、深い安心感がある。また待っていてくれる人、声をかけてくれる人がいるから、心が折れそうになりながらも次につなげていける。

●数藤政信さん(新潟) 自然農法7年目の田は草が出ず、有機農法の田と見た目の差はなくなった。稲姿がきれい。来年は無施肥を増やそうかとも思うが、食べたい人がいなければ、やっても意味がないので、消費者の声をもっと聞きたい。喜んでもらえれば苦労もなくなり、やりがいがある。

●山下耕平さん(石川) 本当は無施肥で生計を立てたいが、いろいろ事情もあり、現在無施肥の圃場は1枚。無施肥を広めるには価格の壁がある。価格を下げるには収量を上げなければならないので、技術を確立したい。しかし、目に見える技術より心の部分が大きいと思う。感謝の気持ち、周りの人を大切にするなど、当たり前のことができて初めていいものができるのではないかな。

●中島敬太郎さん(群馬) りんごの自然農法は難しいが、ここ数年は花が咲いてくれる。想いを変えると土や木も変わることを体感した。不平のエネルギーで作ったらダメ。

11月15日(日)販売

たくさんの野菜や加工品が購入できるうえ、生産者の方とお客さんとが直接交流でき、皆さん楽しそうでした。年々販売ブースも増えてきているようです。

会場の外では自然米を使った餅つきが行われ、子供たちも参加して盛況でした。つきたてのおもちと一緒にトン汁も頂き、自然農法の味を満喫しました。(編集部)



木島平 稲刈り体験報告

農産展販売係 長島俊行

私は農産展販売係として毎年複数の生産者の方を訪問しています。

自然農法の作物作りには困難もありますが、実施者の皆様が語られるときの目はいつも輝いており、日々弛まぬ努力をされる姿勢には頭が下がります。

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



今年は初めて木島平の堀さんの収穫のお手伝いをしました。作業は、バインダーという手押しの機械で稲を数株ごとに束ねていく稲刈りと、稲の束を逆さまにして天日に干すという、昔ながらのお米の乾燥方法のはざ掛けです。稲刈りは機械を使うとはいえ、初心者には簡単な作業ではありません。それでも、うね、うねと進めていくうちに慣れてきて、なんとかお手伝いと言えるほどになりました。はざ掛けは田んぼに物干し竿のようなポールを立てて、その上に稲束を掛けます。洗濯物は乾燥機より天日干しのほうが気持ちよいのと同じく、お米も機械乾燥より天日乾燥されることで本来の味となるそうです。このような収穫をお

手伝いすることで、「お米は88回の手間がかかる」という言葉の深み、重みをわずかにも感じ、無施肥無農薬の作物は自然力と人の共同作業による奇跡の集大成だと思いました。

「岡田茂吉師の自然農法を世に出す」という想いを胸に、堀さんはいつも TOREK の目標の一つ「自然農法の実施と普及」を真しに実践されています。そして、コンクールで金賞をもらうという社会的に認められる結果に、自分たちの方向性はどうあるべきかを教えていただいているように思います。これからも実施者の方を訪ねながら、自然農法を学び、農産展販売係として、自然農法の作物の普及のお手伝いをしていきたいと思っています。



おできと熱に自然農法の作物!

茨城県 伊藤寿海



7月半ばに、あごの辺りにゴツゴツした出来物ができ、それが初めは一部分だけだったのが、2、3日であつと言う間に顔中に広がり、そのためか熱もあり、夜は痛みで眠れず、食欲も落ち、食事が食べられませんでした。しかし、自然農法の梅で作ったジュースをもらい、試しに飲んでみました。胃もたれするかと思ったのですが、胃に染み渡る美味しさで、元気をもらいました。またその後、自然米と自然卵で卵かけご飯、ほうじ茶、ジャガイモ、みかんジュース、全て自然農法の物のみで、治るまでの一週間強を過ごし、薬を使うことなく、一週間目にはポロポロとかさぶたが落ち、あつという間にキレイになり、今までのアトピーの肌質も少し改善されました。体内の汚いものがあふれ出てきて、あのような顔のブツブツとなって、体の外に出たのではないかと思います。

一週間自然農法のものだけを食していたため、その後、普通のジュースを飲んだとき、人工甘味料のようなものが舌に残る苦味などの違和感を、今まで以上に感じるようになりました。

お知らせ

- ★ ほっと縁市 11月29日(日) 赤羽公園 10:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 12月13日(日) 東中野会場 10:00~ 売り切れ次第終了
- ★ 自然農法頒布会 12月18日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了

無施肥無農薬栽培物の販売予定

12月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ: 煎茶・ほうじ茶(ミコハツも有り)
- きじま平自然農産: 甘納豆、そば、お米、もち米
- 菜園金野: 大根、里芋、小松菜、長ネギ、サツマイモ
- 長柄山自然農園: 卵、燻製卵、温泉卵、ひき肉
- 中島農園: りんご、長ネギ、下仁田ネギ、ハウレンソウ、チンゲンサイ、小松菜、ジャガイモ、梅干
- ジョリフィーユ: かぼちゃのモンブラン、ブランガレット、カスタードプリン他

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>